

## 16 公衆電話所

	整 備 基 準	図面及び各項目 の名称・番号等	設 計 内 容	判 定	留 意 事 項
				基 準	
公衆電話所の設置			(設置の有無) ・有 ・無		
障害者対応 公衆電話機 の設置	公衆電話所を設ける場合には、聴覚障害者 及び視覚障害者に対応した公衆電話機を1 以上設置し、その旨を表示		(受話器の音量調節) ・可 ・不可 (点字表示の有無) ・有 ・無 (その他) (表示の有無) ・有 ・無		
車椅子使用 者対応公衆 電話台の設 置	公衆電話所を設ける場合には、車椅子使用 者に配慮した公衆電話台を1以上設置		(設置数) 台、 階 台 階 台、 階 台 敷地内の通路		
公衆電話台 の構造	カウンターの上端の高さ70 c m程度		(上端の高さ) c m		
	カウンターの下端の高さ60～65 c m程度		(下端の高さ) c m		
	下部に車椅子のフットレストが入る奥行き 45 c m程度の空間を確保		(下部の空間) ・有 ・無		
公衆電話所に出入口を設ける場合には、車椅子使用者に 配慮した構造とする。			(出入口) ・有 ・無		
出入口の構 造	内りの幅90 c m以上		(最小内りの幅) c m		
	戸は、自動開閉又は車椅子使用者が円滑に 開閉して通過できる構造		(開閉方式) (駆動方式)		
	透明な戸は、衝突防止措置を講ずる。		(講じた措置)		
	車椅子使用者の通過に支障となる段を設け ない。		(段の有無) ・有 ・無		